

平成27年度 新入社員の意識調査

調査概要	1
調査結果	
～今年の新入社員のタイプは～	2
問1 あなたは、どんな「生き方」をしたいと思っていますか？	3
問2 あなたは、仕事と家庭のどちらを優先しますか？	4
問3 働くことについてどのように考えていますか？	5
問4 今の会社ですっと働きたいですか？	6
問5 徳島県内の企業に就職した理由は何ですか？	7
問6 今の企業を選んだ理由は何ですか？	8
問7 出世についてどう思っていますか？	9
問8 会社に望むことは何ですか？	10
問9 上司や先輩に望むことは何ですか？	11
問10 仕事や職場に関する期待・不安はありますか？	12
問11 仕事や職場で悩みや不安がある場合、誰に相談しますか？	13
問12 今の自分に自信があること、また自信がないことは何ですか？	14
問13 仕事以外で一番関心のあることは何ですか？	15
問14 休日(余暇)に最もしたいと思うことは何ですか？	16

調 査 概 要

1. 調査期間 平成27年3月23日～3月27日、4月6日～4月7日
2. 方 法 無記名アンケート方式
3. 対 象 あわぎんビジネスカレッジ主催
「新入社員セミナー」参加者
4. 参加企業 124社
5. 参加者数 422名
6. 回答者数 414名 回収率 98.1%

(内訳)

	大学卒	短大卒	高校卒	計
男性	109	40	105	254
女性	71	50	39	160
計	180	90	144	414

(注)短大卒には専門学校卒を含む

(参考)

職種別	営業	事務	技術	不明	計
	108	55	219	32	414

～今年の新入社員のタイプは～

1. 家庭と仕事のバランスをとりながら仕事を通して成長したい新入社員

- ・「幸福な家庭を築きたい」「自分の能力を発揮できる生き方をしたい」は男女別・学歴別の全てで増加。(問1)
- ・「仕事と家庭のどちらも重視する」がトップ、バランスを重視する回答が圧倒的。(問2)
- ・仕事に対する意識は「働き甲斐」を重視している。(問3)
- ・「人並み以上に出世したい」「出世しなくても好きな仕事を楽しくやりたい」とも増加(問7)

家庭と仕事とのバランスを重視しながらも、自己実現のため成長したい姿がみえる。

2. 希望通りの就職ができ、これから能力を発揮したい新入社員

- ・「定年まで働きたい」が半数を占め、転職を考えている人は減少。(問4)
- ・県内企業に就職した理由は「自分に適している企業があったから」が第1位となった。(問5)
- ・企業を選んだ理由も「自分の好きな業種だから」が例年どおり1位であったが、回答率は23.4%から26.3%へ上昇。(問6)
- ・会社に望むことは、「適正な賃金」「休暇の取得」「公平な処遇」に分散。(問8)

就職環境の改善により就職先の条件に満足していると考えられ、将来への意欲も感じられる結果となった。

3. 不安をかかえながらも、丁寧に指導してもらえればやれる自信のある新入社員

- ・何らかの「不安がある」という回答が73%となっている。(問10)
- ・「仕事に関して丁寧に指導してほしい」が65.2%を占め第1位。(問11)
- ・自信のあることの上位は、第1位が「誠実性」、第2位が「責任感」となり、以下「協調性」「忍耐力」「体力」と続いた。1位の「誠実性」は全体の25.6%にあたる106人が自信があると回答している。「まじめに責任感を持って協力して粘り強くやり遂げる」ことには自信があるという結果となっている。
- 一方、自信のないことの上位は、第1位が「積極性」、第2位が「決断力」で、以下「集中力」「思考力」「計画性」となった。(問12)

与えられた仕事は「まじめに責任感をもってやり遂げる」自信はあるが「自ら積極的にかかわり、自分で決めて遂行すること」に自信がない姿が浮かび上がってくる。

問1 あなたは、どんな「生き方」をしたいと思いますか？

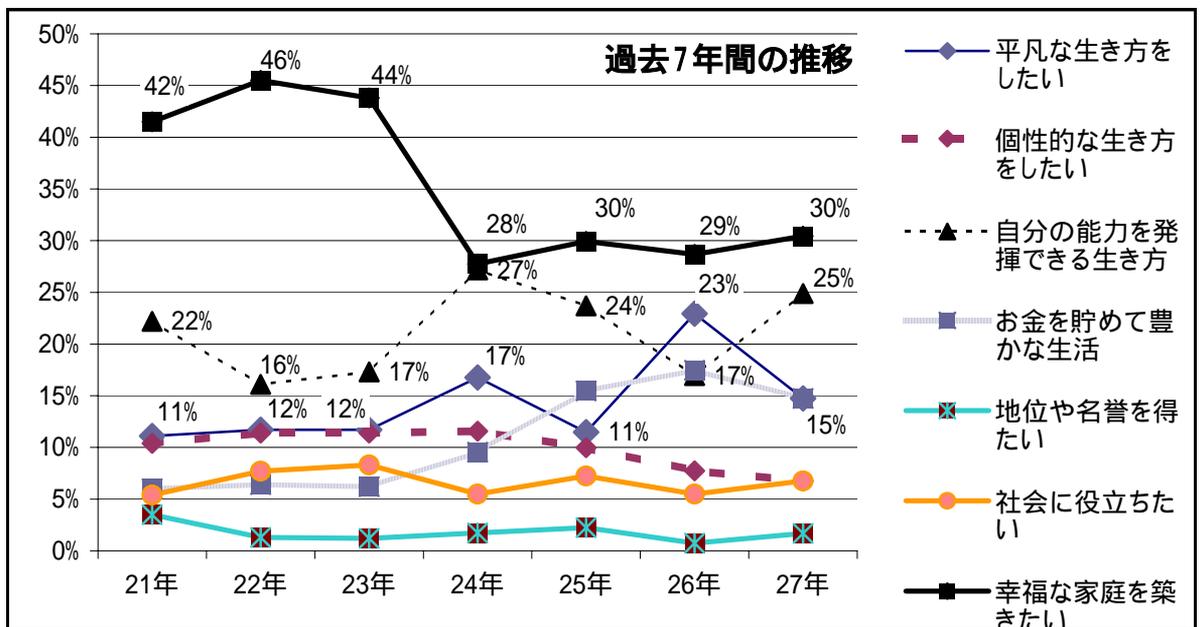
項目	分類	男女別		学歴別			
		合計	男性	女性	高校卒	短大卒	大学卒
平凡な生き方をしたい		14.7%	13.8%	16.3%	17.4%	13.3%	13.3%
個性的な生き方をしたい		6.8%	7.5%	5.6%	4.9%	11.1%	6.1%
自分の能力を發揮できる生き方をしたい		24.9%	26.4%	22.5%	18.8%	27.8%	27.8%
お金を貯めて豊かな生活をしたい		14.7%	16.9%	11.3%	20.1%	12.2%	11.7%
地位や名譽を得たい		1.7%	2.0%	1.3%	2.8%	1.1%	1.1%
社会に役立ちたい		6.8%	8.7%	3.8%	6.9%	4.4%	7.8%
幸福な家庭を築きたい		30.4%	24.8%	39.4%	29.2%	30.0%	32.2%

「幸福な家庭」と「自分の能力を發揮できる生き方」を希望

今年度も「幸福な家庭を築きたい」が30.4%を占めて第1位となった。昨年第4位になっていた「自分の能力を發揮できる生き方をしたい」は全体で7.9ポイント増加して第2位となり、「平凡な生き方をしたい」が前年の22.9%から8.2ポイント減少して第3位となり、「お金を貯めて豊かな生活がしたい」も2.8ポイント減少し第3位となった。

「幸福な家庭を築きたい」「自分の能力を發揮できる生き方をしたい」は男女別・学歴別の全てで増加し、「自分の能力を發揮できる生き方をしたい」は男性では第1位となっている。

昨年の自分の個性を前面に出さない平凡志向から、自分の能力を發揮できる生き方に变化している。



図表中の表示数値は小数点以下を四捨五入(上位4項目のみ記載)

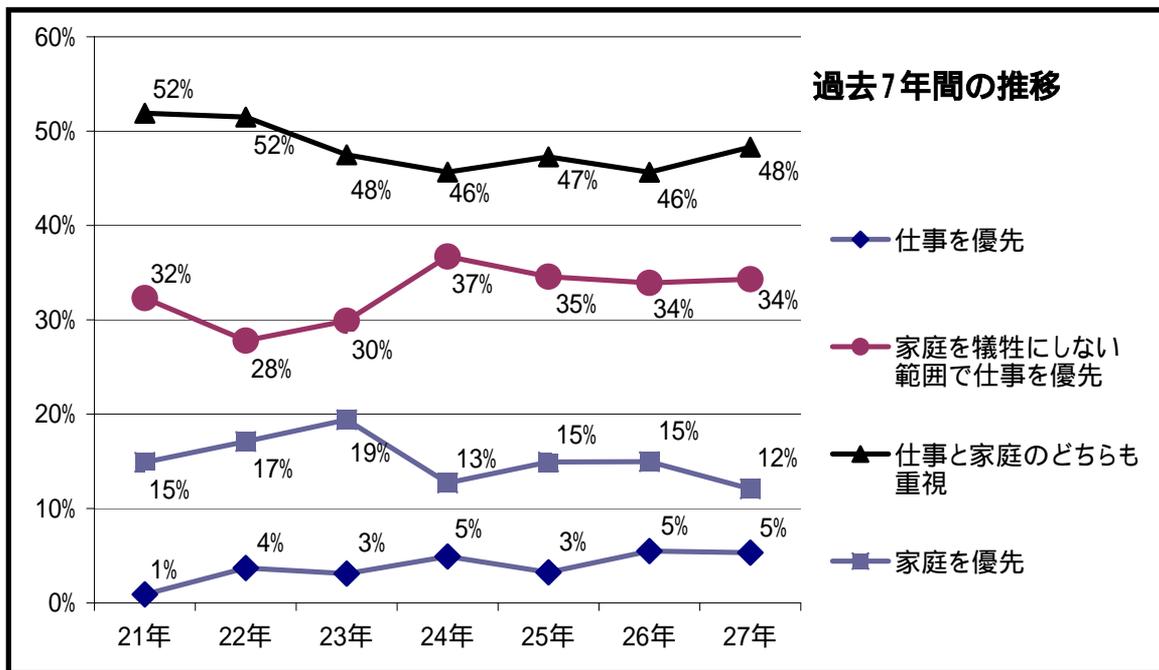
問2 あなたは、仕事と家庭のどちらを優先しますか？

項目	分類	男女別		学歴別			
		合計	男性	女性	高校卒	短大卒	大学卒
仕事を優先する		5.3%	7.5%	1.9%	2.1%	5.6%	7.8%
家庭を犠牲にしない範囲で仕事を優先		34.3%	34.3%	34.4%	31.9%	31.1%	37.8%
仕事と家庭のどちらも重視する		48.3%	47.2%	50.0%	50.0%	51.1%	45.6%
家庭を優先する		12.1%	11.0%	13.8%	16.0%	12.2%	8.9%

軸足はやや「仕事」だが、「家庭」も重視

今年も「仕事と家庭のどちらも重視する」が48.3%でトップとなり、バランスを重視する回答が圧倒的に多かった。

第2位以下も順位に変化はなく、回答割合に大きな変動はなかったが、全体的に少しずつではあるが、優先度合いが「家庭重視」から「仕事重視」へシフトしている傾向が見られる。



図表中の表示数値は小数点以下を四捨五入

問3 働くことについてどのように考えていますか？

項目	分類	男女別		学歴別			
		合計	男性	女性	高校卒	短大卒	大学卒
働き甲斐があれば残業や仕事の苦勞はかまわない		24.6%	25.6%	23.1%	24.3%	17.8%	28.3%
給料や休暇等の待遇が良ければ、残業や仕事の苦勞はかまわない		25.8%	25.6%	26.3%	23.6%	24.4%	28.3%
仕事を通じて技術を身に付けたい		30.2%	34.3%	23.8%	31.9%	45.6%	21.1%
人並みに働くことができればよい		15.7%	9.8%	25.0%	16.0%	8.9%	18.9%
できれば楽な仕事がしたい		3.6%	4.7%	1.9%	4.2%	3.3%	3.3%

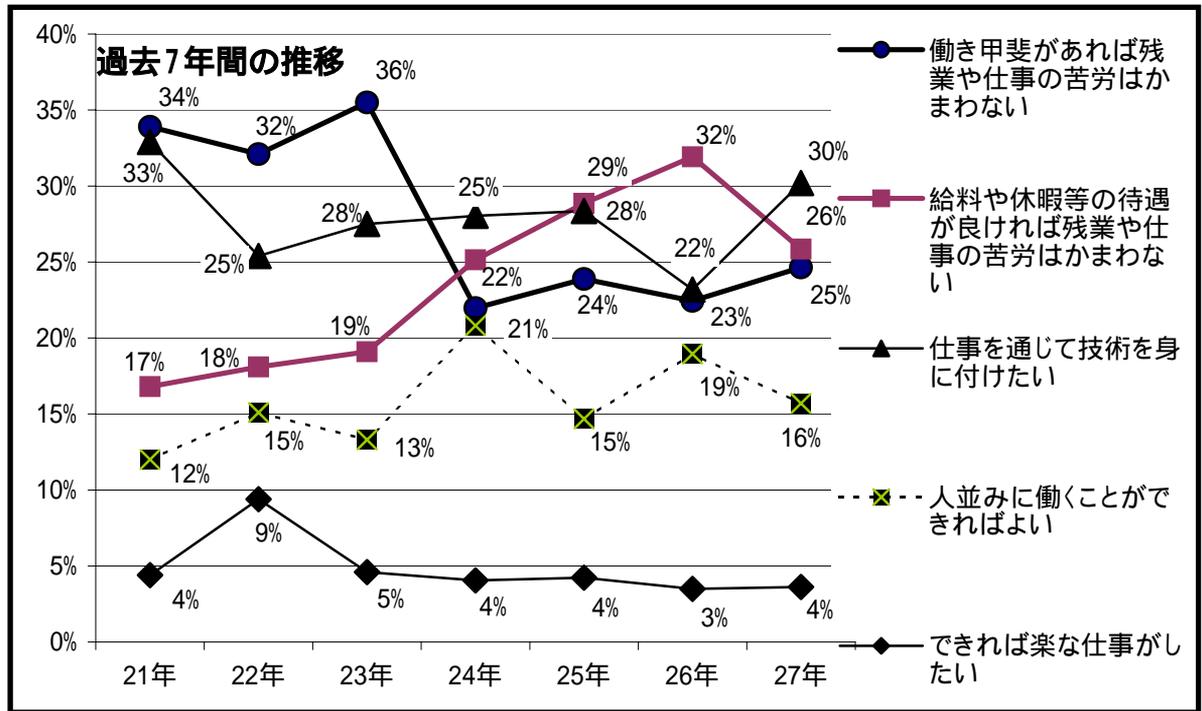
仕事を通じて技術を身につけ「働き甲斐」重視

5年連続上昇し、昨年第1位であった「給料や休暇等の待遇が良ければ、残業や仕事の苦勞はかまわない」を抜いて、「仕事を通じて技術を身に付けたい」が第1位となった。

第2位は「給料や休暇等の待遇が良ければ、残業や仕事の苦勞はかまわない」（前年比6.1ポイント減）となり、第3位は「働き甲斐があれば残業や仕事の苦勞はかまわない」（同2.2ポイント増）と続いた。

ここ数年、現実的に「給料や休暇などの労働条件面」を重視する傾向が続いていたが、今年の仕事に対する意識は「働き甲斐」を求めているという結果となった。

「人並みに働ければ良い」という平凡さを求める回答や「できれば楽な仕事がしたい」という消極的な回答は少なかった。



図表中の表示数値は小数点以下を四捨五入

問4 今の会社ですっと働きたいですか？

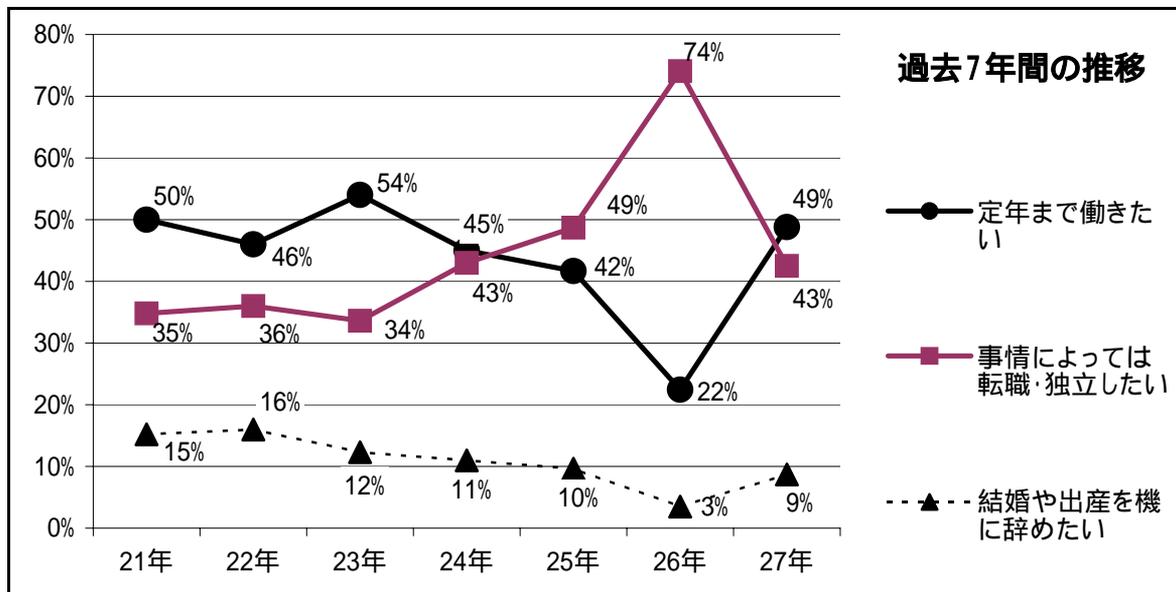
項目	分類	男女別		学歴別			
		合計	男性	女性	高校卒	短大卒	大学卒
定年まで働きたい		48.8%	58.3%	33.8%	62.5%	34.4%	45.0%
条件のよい会社があれば転職したい		12.8%	12.2%	13.8%	8.3%	12.2%	16.7%
自分に向かないと思えば転職したい		19.8%	18.1%	22.5%	16.7%	24.4%	20.0%
技術を覚えたら独立(転職)したい		9.9%	11.4%	7.5%	4.9%	20.0%	8.9%
結婚や出産を機に辞めたい		8.7%	0.0%	22.5%	7.6%	8.9%	9.4%

「転職」「独立」と「定年まで働きたい」は半々

「定年まで働きたい」が26.4ポイント増加し第1位。男女別・学歴別すべての分類でも第1位となった。就職環境の改善により就職先の条件に満足し、定年まで働きたいと考えている可能性がある。

「条件のよい会社があれば転職したい」は19.1ポイント減少、「自分に向かないと思えば転職したい」は3.8ポイント減少、「技術を覚えたら独立(転職)したい」は9.1ポイント減少し、転職(独立)を考えている人は大幅に減少し計42.5%となった。

また、「結婚や出産を契機に退職」も女性で20.1ポイント増加した。社会全体としても育児休暇制度など働く女性を支援する環境が整ってきているものの、結婚や出産を契機に退職したいと考える人もいる。



図表中の表示数値は小数点以下を四捨五入

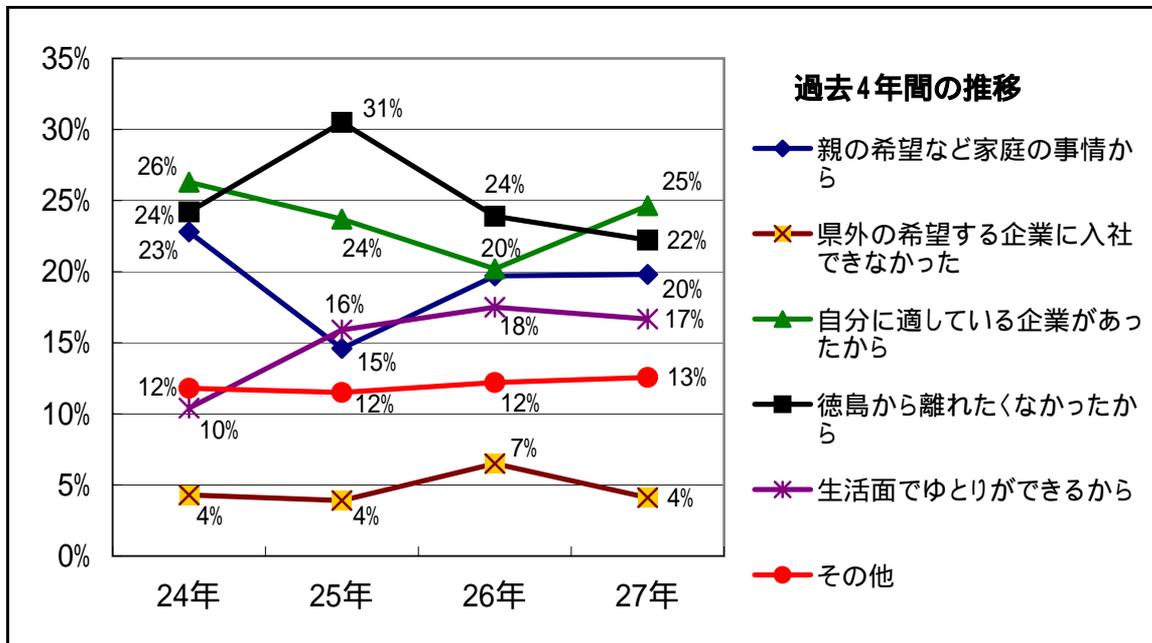
問5 徳島県内の企業に就職した理由は何ですか？

項目	分類	男女別		学歴別			
		合計	男性	女性	高校卒	短大卒	大学卒
親の希望など家庭の事情から		19.8%	15.0%	27.5%	18.8%	23.3%	18.9%
県外の希望する企業に入社できなかった		4.1%	5.9%	1.3%	4.2%	0.0%	6.1%
自分に適している企業があったから		24.6%	25.6%	23.1%	20.1%	27.8%	26.7%
徳島から離れたくなかったから		22.2%	21.3%	23.8%	22.2%	21.1%	22.8%
生活面でゆとりができるから		16.7%	16.5%	16.9%	19.4%	16.7%	14.4%
その他		12.6%	15.7%	7.5%	15.3%	11.1%	11.1%

自分に適している企業と地元 徳島への愛着

「自分に適している企業があったから」が4.4ポイント増加し、前年第1位の「徳島から離れたくなかったから」を抜いて第1位となった。「県外の希望する企業に入社できなかった」という回答もあるものの、就職環境の改善で希望通りの就職ができたことがうかがえる。

第2位は昨年第1位の「徳島から離れたくなかったから」となった。学歴性別に関係なくほぼ20%を占め、共通した理由となっている。第3位は「親の希望など家庭の事情から」と続く。女性では「親の希望など家庭の事情」が第1位となっている。男女別・学歴を問わず、地元への愛着の大きさがうかがえる結果は続いている。



図表中の表示数値は小数点以下を四捨五入

問6 今の企業を選んだ理由は何ですか？

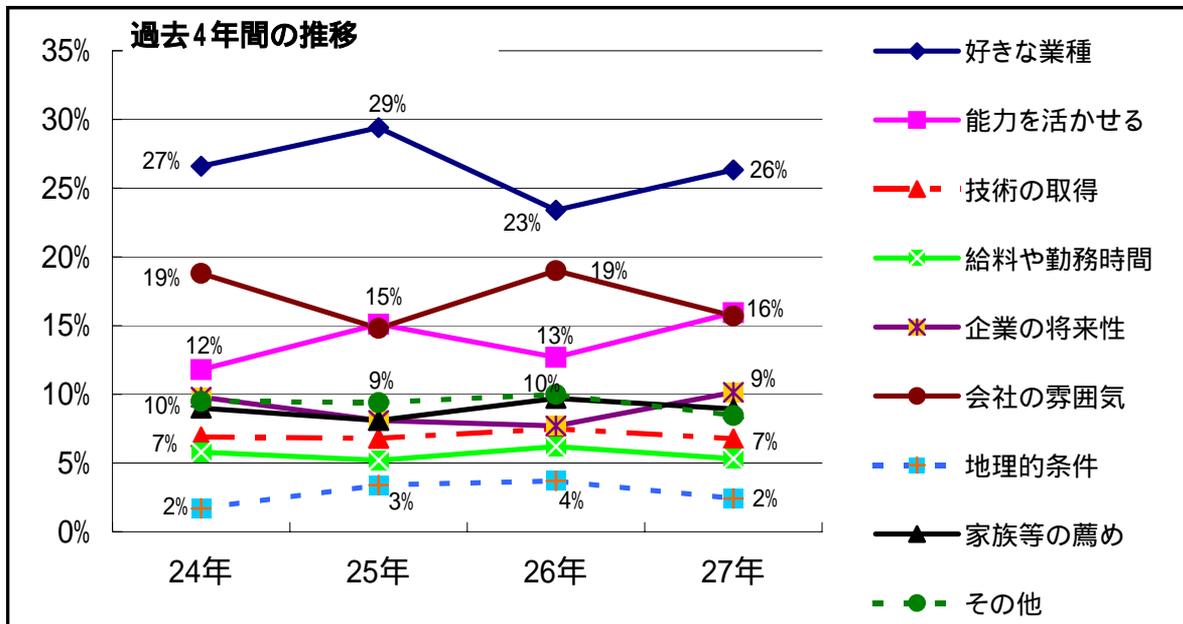
項目	分類	男女別		学歴別			
		合計	男性	女性	高校卒	短大卒	大学卒
自分の好きな業種だから		26.3%	22.0%	33.1%	20.1%	36.7%	26.1%
自分の能力や個性を生かせるから		15.9%	15.7%	16.3%	16.0%	15.6%	16.1%
技術が覚えられるから		6.8%	9.8%	1.9%	9.7%	7.8%	3.9%
給料や勤務時間等の条件が良い		5.3%	5.9%	4.4%	7.6%	0.0%	6.1%
将来性のある企業だから		10.1%	12.6%	6.3%	13.2%	4.4%	10.6%
会社の雰囲気が良いから		15.7%	13.8%	18.8%	11.8%	17.8%	17.8%
地理的条件が良いから		2.4%	2.4%	2.5%	1.4%	1.1%	3.9%
家族や恩師に薦められたから		8.9%	9.8%	7.5%	9.0%	8.9%	8.9%
その他		8.5%	7.9%	9.4%	11.1%	7.8%	6.7%

自分の好み・能力・個性と将来性で企業選択

第1位は例年どおり「自分の好きな業種だから」であったが、回答率は23.4%から26.3%へ上昇した。男女別・学歴別とも上昇している。

第2位は「自分の能力や個性を生かせるから」であり、こちらも男女別・学歴別とも上昇している。ここでも、希望通りの就職ができたことがうかがえる。

第3位は「会社の雰囲気が良いから」となった。「将来性のある企業だから」は7.7%から10.1%に増加の4位ながら男女別・学歴別すべての分類でも増加した。また「家族や恩師に薦められたから」は9.7%から8.9%と微減となった。



図表中の表示数値は小数点以下を四捨五入

(将来像)

問7 出世についてどう思っていますか？

項目	分類	男女別		学歴別			
		合計	男性	女性	高校卒	短大卒	大学卒
経営者や役員を目指したい		19.6%	28.0%	6.3%	19.4%	11.1%	23.9%
人並みに出世はしたい		42.0%	42.5%	41.3%	45.1%	37.8%	41.7%
出世しなくても好きな仕事を楽しくやりたい		32.9%	25.6%	44.4%	29.2%	46.7%	28.9%
特に何も思わない		5.6%	3.9%	8.1%	6.3%	4.4%	5.6%

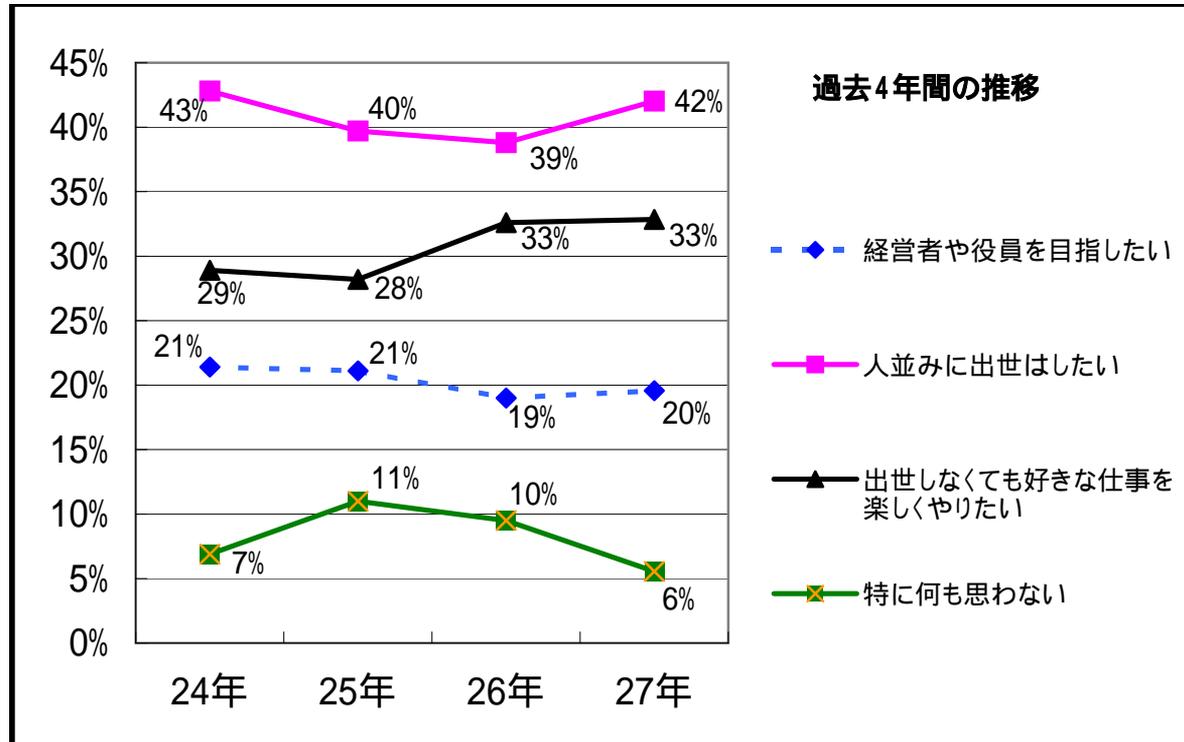
人並みに出世したいし仕事も楽しくやりたい

全体としては昨年と大きな変化はないが、第1位の「人並みに出世はしたい」は男女別学歴別ともに増加し42.0%となった。「経営者や役員を目指したい」も増加して19.6%、両方合わせ人並み以上に出世したいとすると3.8%増加の61.6%を占める。

その分「特に何も思わない」が減少している。

「出世しなくても好きな仕事を楽しくやりたい」という回答も32.6%から32.9%に上昇。

出世や地位に対する意欲、仕事に対する意欲の両面の意識がみられる結果となった。



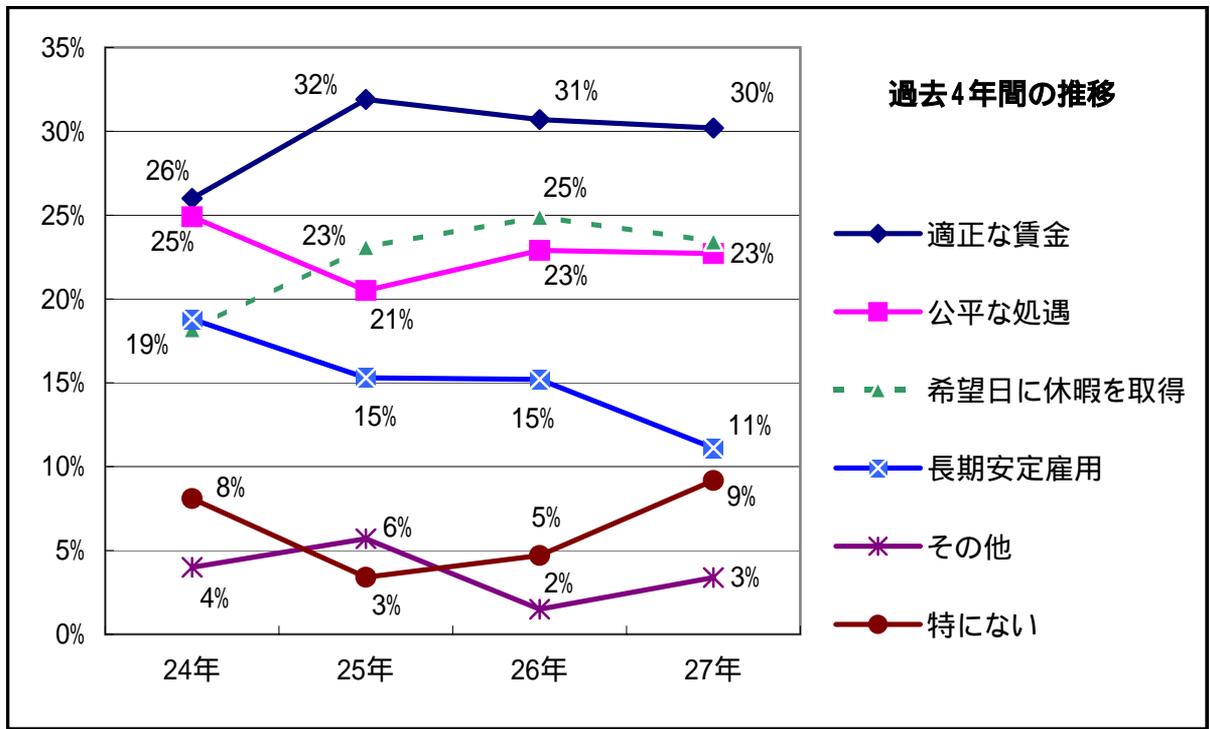
図表中の表示数値は小数点以下を四捨五入

問8 会社に望むことは何ですか？

項目	分類	男女別		学歴別			
		合計	男性	女性	高校卒	短大卒	大学卒
適正な賃金		30.2%	29.9%	30.6%	33.3%	26.7%	29.4%
公平な処遇		22.7%	21.3%	25.0%	13.9%	28.9%	26.7%
希望日に休暇を取得		23.4%	20.9%	27.5%	22.9%	23.3%	23.9%
長期安定雇用		11.1%	13.4%	7.5%	14.6%	7.8%	10.0%
その他		3.4%	4.3%	1.9%	0.7%	5.6%	4.4%
特にない		9.2%	10.2%	7.5%	14.6%	7.8%	5.6%

望みは「適正な賃金」「公平な処遇」「希望日の休暇取得」

昨年と大きな変動はなく、第1位は「適正な賃金」の30.2%で、第2位は23.4%の「希望日に休暇を取得」、第3位は「公平な処遇」の22.7%となった。「希望日に休暇を取得」は今年は減少したものの、24年度の18.2%、25年度の23.1%、26年度の24.9%と増加傾向であり、特に女性で望みが強い。
また、長期安定雇用は年々減少してきており、今年は11.1%となった。



図表中の表示数値は小数点以下を四捨五入

問9 上司や先輩に望むことは何ですか？

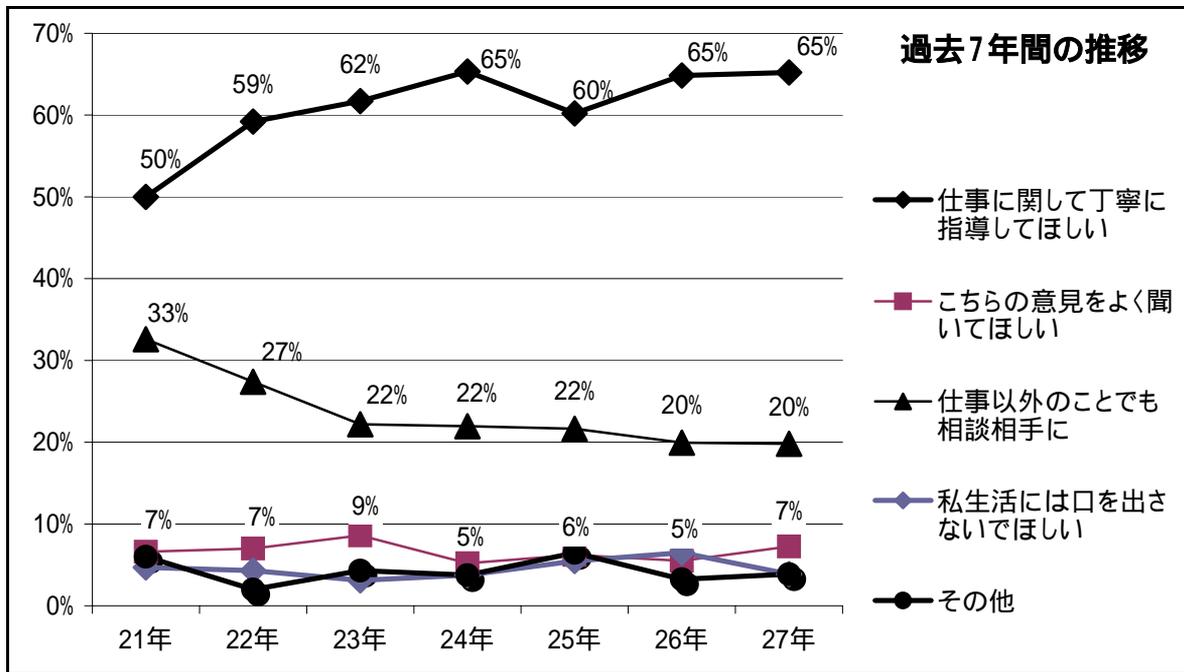
項目	分類	男女別		学歴別			
		合計	男性	女性	高校卒	短大卒	大学卒
仕事に関して丁寧に指導してほしい		65.2%	62.2%	70.0%	64.6%	57.8%	69.4%
こちらの意見をよく聞いてほしい		7.2%	7.1%	7.5%	2.8%	6.7%	11.1%
仕事以外のことでも相談相手になってほしい		19.8%	22.0%	16.3%	23.6%	24.4%	14.4%
私生活には口を出さないでほしい		3.9%	4.3%	3.1%	4.9%	3.3%	3.3%
その他		3.9%	4.3%	3.1%	4.2%	7.8%	1.7%

仕事に関して丁寧な指導を先輩に望む

全体的に大きな変化はなく「仕事に関して丁寧に指導してほしい」が前年比0.4ポイント増加して、全体の65.2%を占めて例年どおり第1位となった。

第2位は「仕事以外のことでも相談相手になってほしい」が19.8%となっているが、21年度の32.6%をピークに減少傾向にある。

仕事に真剣に取り組んでいこうとする積極姿勢とやさしい先輩像を期待している姿がうかがえ、雰囲気や人間関係の良い職場環境で、丁寧にしっかりと指導してくれる上司・先輩が望まれている調査結果となった。



図表中の表示数値は小数点以下を四捨五入(主要3項目のみ記載)

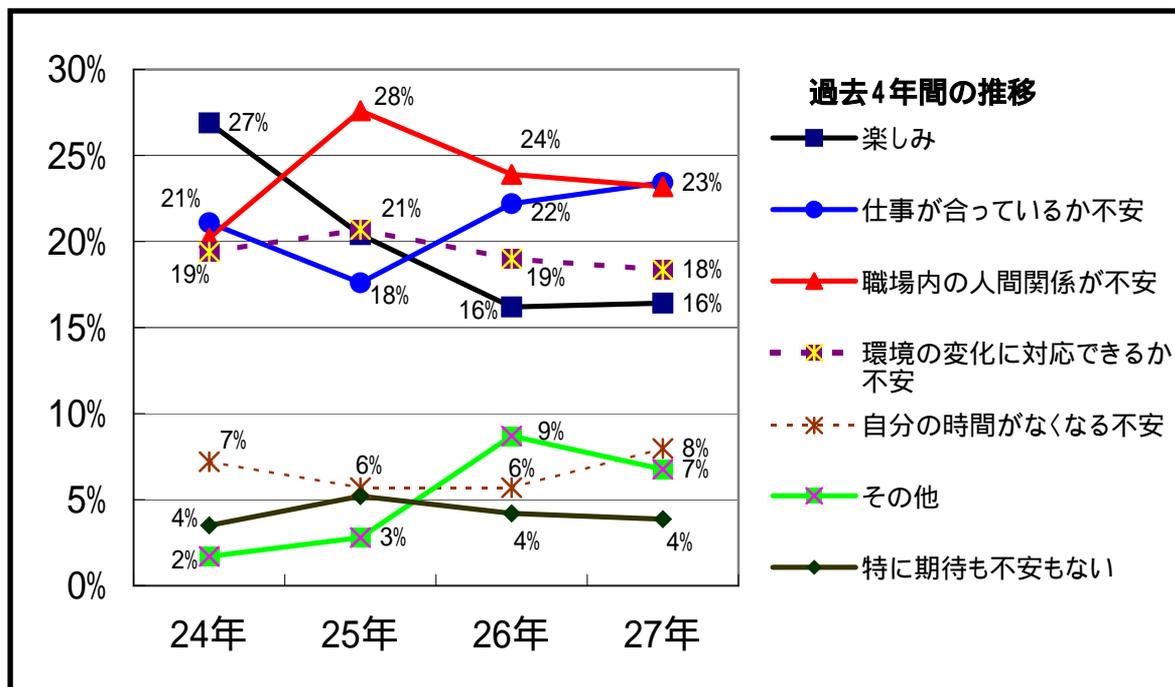
問10 仕事や職場に関する期待・不安はありますか？

項目	分類	男女別		学歴別			
		合計	男性	女性	高校卒	短大卒	大学卒
楽しみである		16.4%	18.5%	13.1%	14.6%	17.8%	17.2%
仕事が自分に合っているかどうか不安		23.4%	21.3%	26.9%	22.9%	18.9%	26.1%
上司・先輩・同僚との人間関係が不安		23.2%	20.9%	26.9%	25.7%	24.4%	20.6%
環境の変化に対応できるかどうか不安		18.4%	16.5%	21.3%	17.4%	20.0%	18.3%
自分の時間がなくなるのではないかと不安		8.0%	9.4%	5.6%	7.6%	4.4%	10.0%
その他		6.8%	7.5%	5.6%	5.6%	11.1%	5.6%
特に期待も不安もない		3.9%	5.9%	0.6%	6.3%	3.3%	2.2%

仕事と人間関係に不安

「仕事が自分に合っているかどうか不安」という回答が第1位「上司・先輩・同僚との人間関係が不安」が第2位となり、男性・女性とも仕事と職場の人間関係に対する不安が大きいことがうかがえる。

全体として「楽しみである」という期待が16.4%に対し、何らかの「不安がある」という回答が73%となっている。



図表中の表示数値は小数点以下を四捨五入

問11 仕事や職場で悩みや不安がある場合、誰に相談しますか？

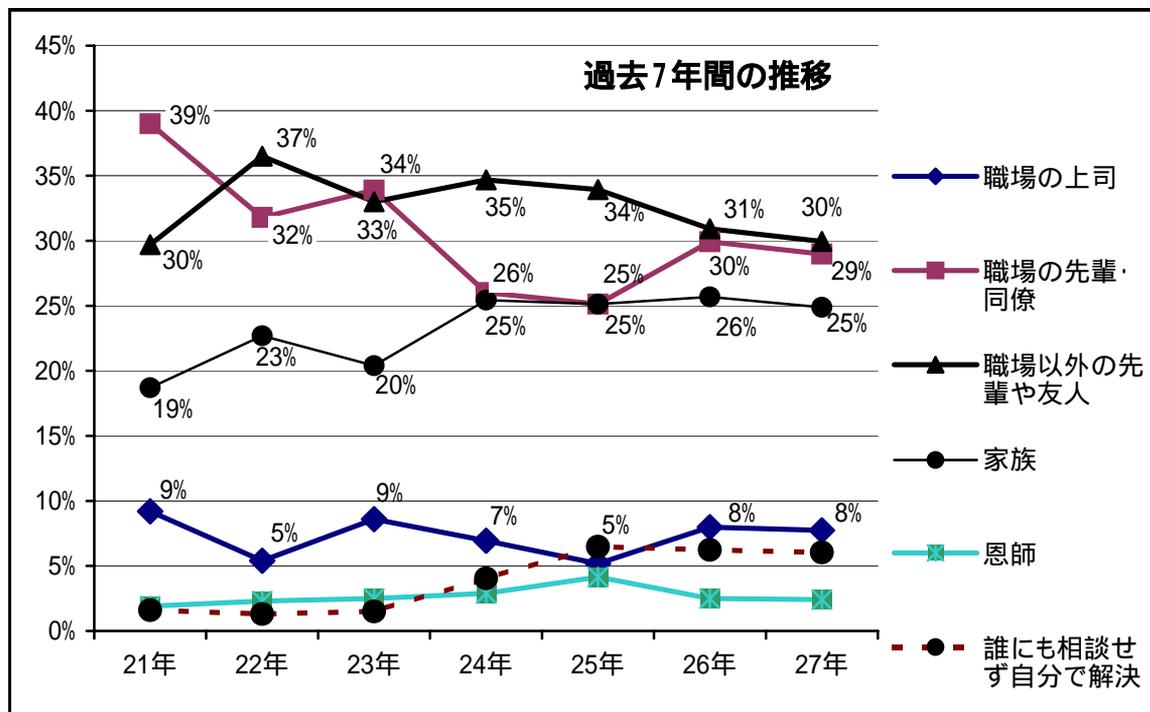
項目	分類	男女別		学歴別			
		合計	男性	女性	高校卒	短大卒	大学卒
職場の上司		7.7%	10.6%	3.1%	7.6%	10.0%	6.7%
職場の先輩・同僚		29.0%	31.5%	25.0%	28.5%	27.8%	30.0%
職場以外の先輩や友人		30.0%	29.5%	30.6%	19.4%	37.8%	34.4%
家族		24.9%	18.5%	35.0%	34.0%	15.6%	22.2%
恩師		2.4%	2.4%	2.5%	2.8%	3.3%	1.7%
誰にも相談せず自分で解決する		6.0%	7.5%	3.8%	7.6%	5.6%	5.0%

相談相手は職場以外の人が多いが職場での相談も重要

第1位は「職場以外の先輩や友人」で30.0%、第2位は「職場の先輩・同僚」で29.0%、第3位は「家族」が24.9%となり順位に変動はなかった。

家族への相談は高い水準を維持しており、特に女性と高卒では「家族に相談する」が1位となっている。

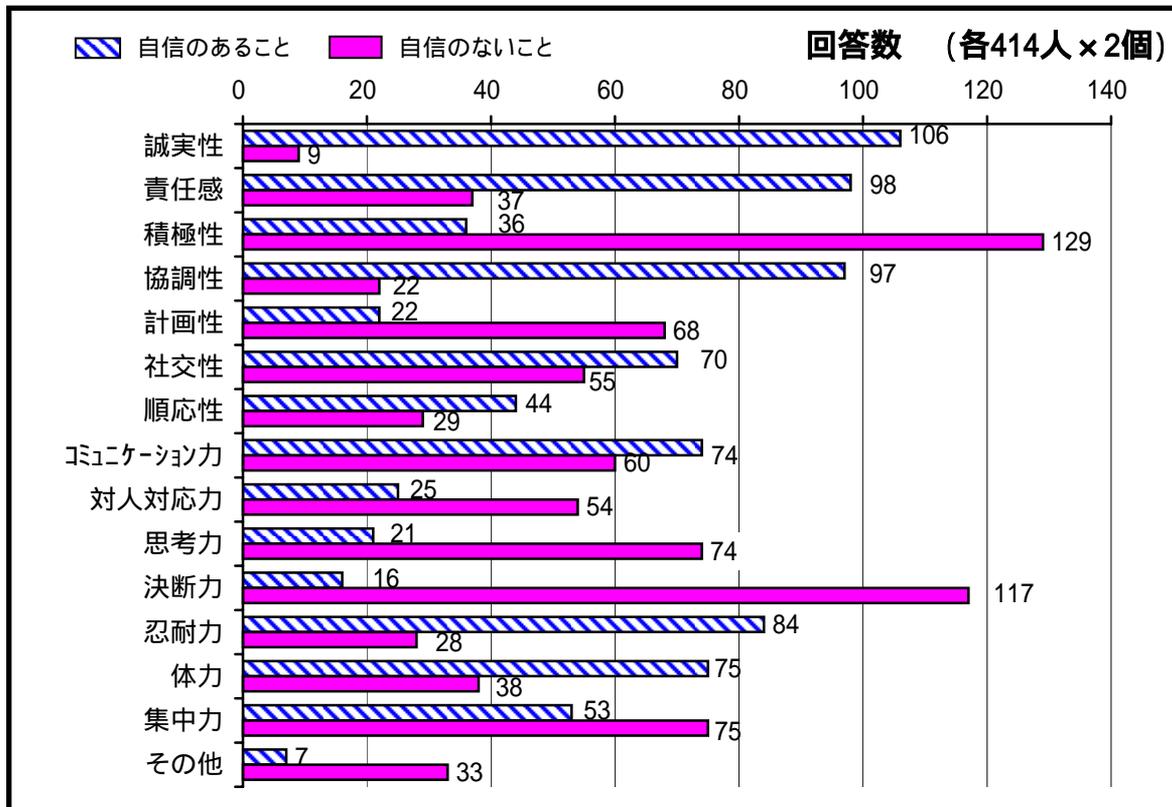
全体として男女とも職場外へ相談するとした回答が多いが、「職場の上司・先輩・同僚」に相談する割合も36.7%となっており、しっかりコミュニケーションをとって、職場内の悩みは職場内で解決していく取り組みが必要である。



図表中の表示数値は小数点以下を四捨五入(上位4項目のみ記載)

問12 今の自分に自信があること、また自信がないことは何ですか？

自信のあること、自信のないことをそれぞれ2つ選択



自信ありは「誠実性」、自信なしは「積極性」

自信のあることの上位は、第1位が「誠実性」、第2位が「責任感」となり、以下「協調性」「忍耐力」「体力」と続いた。1位の「誠実性」は全体の25.6%にあたる106人が自信があると回答している。「まじめに責任を持って協力して粘り強くやり遂げる」ことには自信があるという結果となっている。

一方、自信のないことの上位は、第1位が「積極性」、第2位が「決断力」で、以下「集中力」「思考力」「計画性」となった。1位の「積極性」は全体の31%にあたる129人が自信がないと回答している。

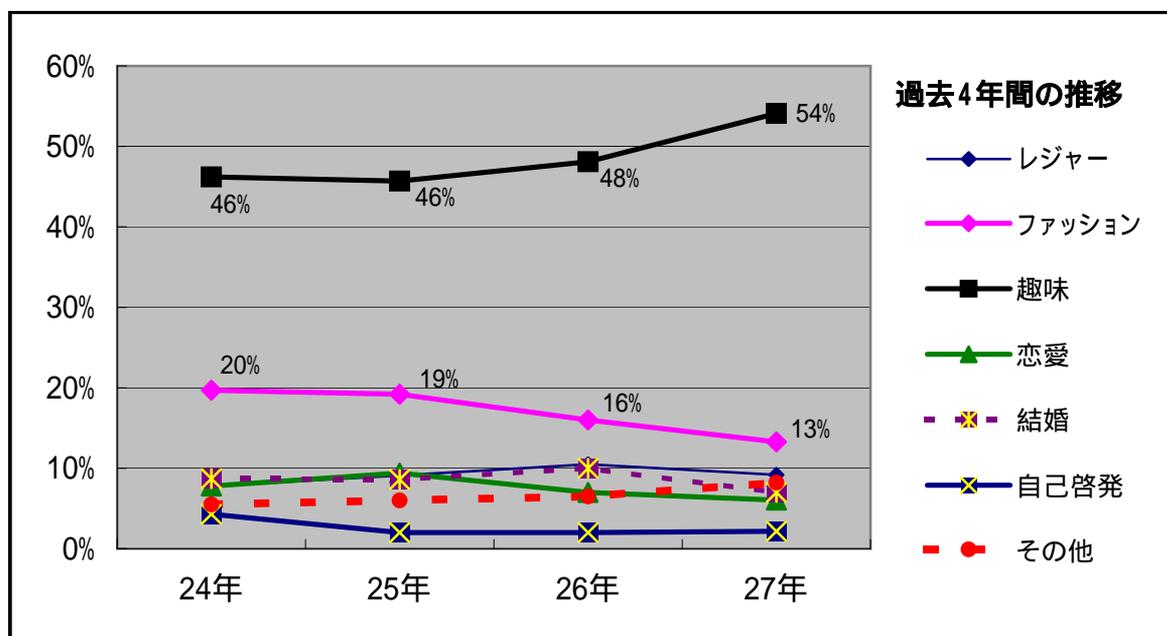
問13 仕事以外で一番関心のあることは何ですか？

項目	分類	男女別		学歴別			
		合計	男性	女性	高校卒	短大卒	大学卒
レジャー		9.2%	9.8%	8.1%	3.5%	7.8%	14.4%
ファッション		13.3%	8.7%	20.6%	13.2%	15.6%	12.2%
趣味		54.1%	59.4%	45.6%	56.3%	48.9%	55.0%
恋愛		6.0%	4.7%	8.1%	6.3%	8.9%	4.4%
結婚		7.0%	5.5%	9.4%	6.9%	11.1%	5.0%
自己啓発		2.2%	2.8%	1.3%	0.0%	1.1%	4.4%
その他		8.2%	9.1%	6.9%	13.9%	6.7%	4.4%

やはり「趣味」が一番の関心事

昨年と大きな変化はなく「趣味」が54.1%と変わらずのトップで、特に男性でその傾向が強まっている。2位も昨年同様「ファッション」となっている。

「恋愛」・「結婚」については女性が17.5%であるのに対して、男性は10.2%と低く、例年の傾向が続いている。また、学歴別にみると、大卒が9.4%、高卒が13.2%に対して、短大卒は20%と高くなっている。



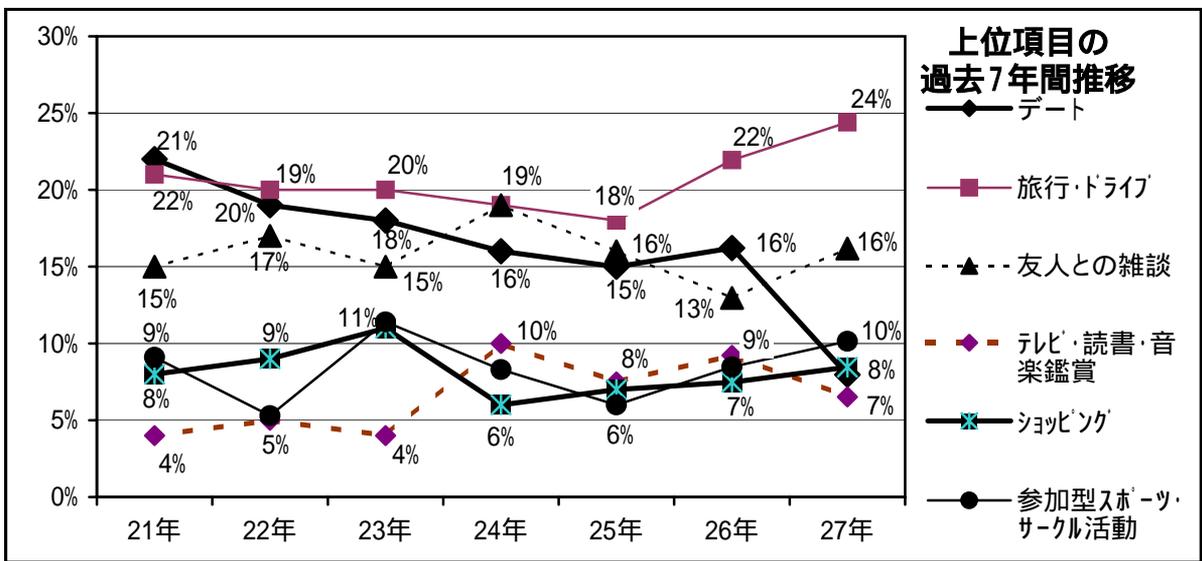
図表中の表示数値は小数点以下を四捨五入(主要2項目のみ記載)

問14 休日(余暇)に最もしたいと思うことは何ですか？

項目	分類	全体	男性			女性		
			高校卒	短大卒	大学卒	高校卒	短大卒	大学卒
デート		8.0%	6.7%	7.5%	5.5%	10.3%	10.0%	11.3%
旅行・ドライブ		24.4%	16.2%	32.5%	17.4%	15.4%	28.0%	45.1%
インターネット		5.3%	7.6%	2.5%	4.6%	5.1%	4.0%	5.6%
参加型スポーツ		5.1%	13.3%	5.0%	2.8%	0.0%	0.0%	2.8%
スポーツ観戦		4.1%	7.6%	5.0%	5.5%	2.6%	0.0%	0.0%
テレビ・読書・音楽鑑賞		6.5%	1.0%	12.5%	8.3%	12.8%	8.0%	4.2%
ショッピング		8.5%	7.6%	2.5%	1.8%	28.2%	14.0%	8.5%
友人との雑談		16.2%	19.0%	10.0%	15.6%	15.4%	24.0%	11.3%
クラブ・サークル活動		5.1%	5.7%	2.5%	10.1%	0.0%	0.0%	4.2%
パチンコ等の娯楽		4.6%	3.8%	2.5%	11.9%	0.0%	2.0%	0.0%
仕事や資格に関する勉強		1.9%	1.0%	2.5%	4.6%	0.0%	2.0%	0.0%
その他		8.2%	8.6%	10.0%	10.1%	10.3%	4.0%	5.6%
特になし		2.2%	1.9%	5.0%	1.8%	0.0%	4.0%	1.4%

余暇の活用は、分散傾向

「旅行・ドライブ」が24.4%で6年連続の第1位。次いで「友人との雑談」が16.2%で第2位となり、前年3位であった「デート」は8.0%と大きく減少した。
 余暇の活用は分散傾向にあり、男性では参加型スポーツ、スポーツ観戦、クラブ・サークル活動などが増加し、女性ではショッピングが増加するなど性別・学歴別ではそれぞれ特徴がある。



図表中の表示数値は小数点以下を四捨五入

- ご利用に際して -

本資料はアンケート結果に基づいて作成されていますが、当行がその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料に基づくお客さまの決定、行為、及びその結果について、当行は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客さまご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。